



にしおか じゅんじ
西岡 潤二 隊員

- ・余市町出身
- ・札幌市より転入
- ・昭和60年生まれ

平成24年6月に、教育と観光分野で地域おこし協力隊の委嘱を受けて、早いもので2年が過ぎました。

この間、留萌の自然を体感する「ふくしまキッズ」や市内の児童を対象にした「ふるさと探検隊」、留萌市をはじめ、留萌管内の魅力を発信するインターネットを用いた「るもい web CM ～るもいであいました。」への出演など、さまざまな事業に携わり、貴重な経験をさせていただきました。

また、自分にとって留萌の特色ある美しい景色と美味しい食材に魅せられたことや人情味あふれるマチの人たちとの出会いは、かけがえのない財産です。

地域おこし協力隊の3年間の任期を終えたあとは、これまでの経験を生かしながら、教育分野を中心に活動していきたいと考えています。

これからも活動を続ける地域おこし協力隊の仲間には、魅力あふれる留萌での生活を楽しみながら、目標に向かって一歩ずつ、そして根気強く取り組んでもらいたいと思います。



もんま あきら
門間 明 隊員

- ・札幌市出身
- ・横浜市より転入
- ・昭和40年生まれ

平成25年6月に、農業分野で地域おこし協力隊の委嘱を受け、新規就農を目指して活動を始めてから1年が過ぎました。

最初は慣れない農作業に戸惑いましたが、先輩方のアドバイスを受けながら、勉強と訓練の毎日を送っています。現在は、研修の一環として、自分で管理する畑で大豆や大根などの栽培を行っています。

また、リモコンヘリコプターによる病害虫防除の手伝いや耕運機などの操作など、少しずつですが知識や技術を習得し、自立に向けた訓練を行っています。

3月に横浜市から妻と3歳の長男を迎え、家族との留萌での生活がスタートしました。留萌のさわやかな気候と素晴らしい景色、そして温かい人たちに囲まれ、家族もとても喜んでます。

就農への道は長く険しいと思いますが、地域おこし協力隊として、そして家族を守る一家の大黒柱として、この留萌に根を下ろし、就農を目指して頑張っていきたいと思っています。



さとう たけし
佐藤 武志 隊員

- ・北見市出身
- ・札幌市より転入
- ・昭和60年生まれ

新入隊員として平成26年8月に、農業分野で地域おこし協力隊の委嘱を受けて、活動を開始しました。

酪農業を営む両親を見て育ち、酪農学園大学に進学し、卒業後は札幌市の肥料や農薬を販売する会社で平成18年から約8年間、営業職に就いていました。

留萌市には、以前の会社に勤務している時に、何度か仕事で訪れたことがあり、景色の美しさと留萌地方で生産される農作物やお米の品質の高さに驚いた記憶があります。応募を決めた理由は、留萌市が農業分野で地域おこし協力隊を募集していることをホームページで知り、自分がこれまで培った知識や経験を生かすことができるのではないかと考えたことです。

今後は、加工から流通、販売までを手がける「6次産業化」の事業を中心に、農業に携わる方や商品開発に力を尽くす方などから多くを学び、マチの新しい産業の創出と魅力の発信に取り組んでいきます。また、地域の活動などにも積極的に参加し、留萌での生活を有意義で充実したものになりたいと思います。

活力ある地域づくりと魅力あふれる留萌の未来のために頑張っています

私たちが地域おこし協力隊です！

都会から移住し、ただいま留萌で奮闘中！



地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、総務省が推進する都市住民などの地域外の人材を地域社会に受け入れ、地域力の維持・活性化を図るものです。人口減少や高齢化などが進む地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、定住・定着を図ることで活力ある地域づくりの一助とする取り組みです。

現在3人の隊員が活動中

市は、平成22年度より「地域おこし協力隊」を募集し、これまでに9人を隊員として委嘱しました。委嘱期間は、おおむね1年から最長3年で、期間中、隊員は市より生活や定住への支援を受けながら、さまざまな地域活動に取り組み、定住・定着を目指しています。これまで2人の隊員が地元企業に

就職し、そのチカラを存分に発揮しています。

現在は24年度と25年度に委嘱した隊員各1人、今年度委嘱した1人の合わせて3人の隊員が、それぞれ活動に取り組みしており、活力ある地域づくりと魅力あふれる留萌の未来を創る原動力として期待されています。